

# HISTORY OF TOYONO TOWN

## 豊能町のあゆみ

明治22年、余野、野間口、川尻、木代、切畑が合併して東能勢村に、吉川が吉川村になったのが豊能町の始まりです。その後、茨木市高山を編入し、東能勢村と吉川村が合併して新しい東能勢村に。昭和33年には京都府亀岡市の牧、寺田地区を編入。宅地開発に伴って人口が急増し、昭和52年に「豊能町」発足。平成14年に町制施行25周年を迎えました。



- 昭和30年 高山地区編入
- 昭和31年 東能勢村・吉川村合体合併「新東能勢村」発足
- 昭和33年 京都府亀岡市牧・寺田地域の編入合併
- 昭和40年 第10回国勢調査人口3,680人
- 昭和41年 東能勢村合併10周年記念式典挙行
- 昭和43年 ときわ台駅前住宅入居開始
- 昭和45年 第11回国勢調査人口4,930人
- 昭和47年 ときわ台駅前住宅完成
- 昭和50年 光風台入居開始  
第12回国勢調査人口7,090人
- 昭和52年 豊能町発足、光風台小学校開校、吉川公民館竣工
- 昭和53年 老人福祉センター「永寿荘」新築竣工  
第一回豊能町町民祭開催
- 昭和54年 消防常備部で救急医療情報システム運用開始
- 昭和55年 青少年運動広場竣工  
東能勢小学校高山分校が高山小学校として開校  
光風台幼稚園開園、農村婦人の家竣工  
第13回国勢調査人口12,471人
- 昭和56年 中央公民館新築竣工
- 昭和57年 豊能町総合計画策定  
青少年体育館・水泳プール竣工により青少年運動広場と合せて  
青少年総合スポーツセンターに  
豊能町上水道創設事業着手  
消防常備部東出張所消防業務開始  
東ときわ台小学校開校
- 昭和58年 老人保健法施行、高山簡易水道事業変更認可
- 昭和59年 上水道創設事業通水し池田市と供用開始  
西公民館竣工、豊能町公共下水道供用開始
- 昭和60年 第14回国勢調査人口16,297人、図書館オープン
- 昭和61年 老人福祉センター「豊寿荘」新築竣工  
保健センターで業務開始、豊能郡環境施設組合設立  
住民情報システムによる本庁・吉川支所間オンライン開始
- 昭和62年 独居老人訪問開始、議会だより発行開始  
新光風台地区上水道給水開始



ときわ台造成



豊能町発足式典



高山小学校開校記念式典



光風台幼稚園開園式典



中央公民館竣工式



東ときわ台小学校開校式典

- 昭和63年 豊能郡美化センター竣工、ふれあい広場オープン
- 平成元年 「青少年健全育成のまち」を宣言  
豊能町都市公園条例制定  
野間口簡易水道事業変更認可、衛生センター竣工
- 平成2年 野間口地域し尿処理センター竣工、  
東能勢幼稚園開園、豊能町新総合計画策定  
第15回国勢調査人口23,673人
- 平成3年 再資源集団回収開始  
心身障害者簡易通所授産所「たんぼの家」開所  
消防本部(署)の発足  
「第1回ヤングフェスティバル in とよの」開催
- 平成4年 移動図書館「やまびこ」運行開始  
生ゴミ堆肥化器具購入への補助開始  
豊能町立各中学校にコンピュータを導入  
デイサービス事業開始
- 平成5年 ユーベルホールオープン、スポーツ広場オープン
- 平成6年 消防署で新救急医療情報システム運用開始  
余野・木代地区の水道整備事業開始  
生き生きふれあいホール運営開始  
妙見口自転車駐車場オープン、「石仏めぐり」を実施
- 平成7年 フロンガス回収車購入・回収開始  
各小学校にコンピュータを導入、高山幼稚園開園  
「生涯学習モデル市町村」に指定される(3年間)  
第16回国勢調査人口26,617人
- 平成8年 人権啓発冊子「かがやき」発行開始  
第1回豊能町妙見山岳マラソン実施、PETボトル回収開始  
川尻・切畑地区の水道整備事業開始  
公共施設巡回バス運行開始  
スポーツセンター「シートス」開館  
第52回国民体育大会リハーサル大会として  
『豊能町高原こもれ日ランニングフェスティバル』を開催  
東部地区簡易水道一部給水開始(木代地区の一部)
- 平成9年 町制施行20周年記念式典挙行  
第52回国民体育大会混成駅伝を実施
- 平成12年 保健福祉総合施設「豊悠プラザ」オープン
- 平成13年 豊能町総合計画(第3次)策定
- 平成14年 東西巡回バス/東地区巡回バス運行開始



妙見バイパス完成



移動図書館「やまびこ」



生き生きふれあいホール



高山幼稚園開園式典



スポーツセンター「シートス」開館



巡回バス